

## 円形劇場くらよしフィギュアミュージアム (旧倉吉市立明倫小学校 円形校舎)

施設名	円形劇場くらよし フィギュアミュージアム (旧倉吉市立明倫小学校)
概要	RC造、4階建 延べ床面積 1,515 m <sup>2</sup>
位置	倉吉市鍛冶町1丁目 2971-2
竣工	昭和30年(1955)年
訪問日	2018年10月27日
訪問者	江原恭二



**【施設の概要】** 本校舎は昭和30(1955)年築。鉄筋コンクリート4階建て、延べ床面積約1,515 m<sup>2</sup>。学校の施設不足に対応しようと1950年代に多く建てられた円形校舎のうち、現存する最古の建物という。

明倫小学校が新校舎に移転後、円形校舎は公民館などとして使用されたが、平成18年に閉鎖。築60年を超え、解体か保存かをめぐり市議会などで論議を巻き起こしたが、稲嶋氏をはじめ市民有志らから提案されたフィギュアミュージアム構想を受け、市から「(株)円形劇場」への無償譲渡が決まった。2017年から耐震補強、エントランスの新設などのリニューアル工事を実施し、2018年から『円形劇場くらよしフィギュアミュージアム』として開館した。

**【訪問記】** 2018年10月27日。当日『円形劇場くらよしフィギュアミュージアム(旧倉吉市立明倫小学校 円形校舎)』がDOCOMOMO Japanによる『日本におけるモダン・ムーブメントの建築216選』選定プレート贈呈式および記念講演会が開催され、参加した。講演会終了後、建物の見学会が開催された。

建物は、竣工当時の外観、内観を残し、リニューアルが実施され、子供たちの声が聞こえるように感じた。元の教室が展示室として活用され、企画展『ミニチュア建築展』が開催されていた。また、各階の廊下部分には、本建物の建築時の様子、リニューアル工事の様子の写真が展示され、興味を引かれた。また、教室が復元されており小学校時代の事を思出した。

**【本建物の評価】** 記念講演『旧倉吉市立明倫小学校の建築史的価値』スライド

山崎鯛介氏(東工大)から引用。

- ・旧明倫小学校校舎は、1950年代後半に坂本鹿名夫が『計画と構造の完全な一致』を追求して考案した『円形建築』を小学校校舎に適用した最初期の作品であり、現存する最古の建物の一つである。

- ・坂本は特に『円形校舎』を实用新型に申請・登録することで、全国に経済的なコンクリート造校舎を復旧させ、小学校の校舎の近代化を試みた。
- ・円形校舎は、円形平面と躯体の軽量化による高い耐震性を特徴としている。
- ・同校舎は、坂本設計の円形校舎として現存最古且つ高い典型性を備えているという点で文化的価値が高く、復元可能な工事手法を用いて補強・修復工事が施され、2018年4月に『円形劇場くらしフィギュアミュージアム』として開館した。



工事の様子 [出典：館内展示写真]



耐震補強工事の様子[出典：館内展示写真]



教室を復元



螺旋階段



館内展示物



館内展示物

**【見学案内】**

- ・開館時間 9:00 - 17:00 (夏季は 18:00)
- ・チケット料金 高校生・一般：常設展 1,000 円、小中学生：常設展：500 円
- ※詳細は HP⇒<https://enkei-museum.com/>